



「夏のアレルギー性鼻炎の原因は？」

7月に入り、暑い日々が続いています。スギやヒノキ花粉のシーズンが終わったのに、鼻水・鼻づまり・くしゃみなどアレルギー性鼻炎の症状に悩まされている方がいます。これから夏の時期のアレルギー性鼻炎の原因には、何があるかご存じですか？

イネ科の植物の花粉が6月から8月まで飛散しています。カモガヤ、ネズミノホソムギ、ハルガヤ、オオアワガエリなどです。道端や空き地に生えている雑草です。また、8月後半になるとブタクサ、ヨモギ、カナムグラの花粉が飛散するので、いわゆる秋の花粉症が始まります。

花粉以外には、梅雨時期から夏の高温期にかけてカビアレルギーが悪化することがあります。また、外の暑い温度と冷房の効いた室内の温度のギャップにより、寒暖差で鼻水やくしゃみなどの鼻症状が出やすい状態になります。自律神経の調整が原因のため、厳密にはアレルギー反応とは異なりますが、症状が似ているために「寒暖差アレルギー」と呼ばれています。

鼻症状だけでなく、汗によって耳のかゆみや全身の皮膚のかゆみが出る人もいます。これらの原因があることを知って、適切に対応することで症状を軽減できるかもしれません。鼻症状でお困りの方は、医師にご相談ください。



カモガヤ

オギジビ豆知識



8月の臨時休診日は、**8月9日（金）**・**8月10日（土）**です。8月12日（月）は山の日振替休日のため休診です。8月13日からは平常通り診療を行います。お盆期間はスタッフが少ないため、お待たせする時間が長くなる可能性があります。時間に余裕をもってご来院ください。暑いですが、楽しい夏を過ごしましょう。

オギジビの輪

- お友達・お知り合いに、是非おぎはら耳鼻咽喉科をご紹介ください。
- 神奈川県では珍しい、言語聴覚士のいる耳鼻咽喉科です。難聴や補聴器については大学病院レベルの診察・検査体制を整えています。
- ちょっとした不安の解消から専門的な診察まで、幅広く行っています。